

## 平成 30 年度第 4 回価格審査会の開催について

平成 30 年度第 4 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	平成 30 年 7 月 13 日(金) 10 : 00 ~ 11 : 30	
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 参与 技術本部 技師長
	関口 司	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長
	森田 義則	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：川野辺 豊、課長：佐藤 良久、 課長：康広 誠己
	第一土木調査部	部長：高橋 俊一
	建築調査部	部長：加納 慎二
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：鈴木 昌樹、次長：古井戸 宏、課長：菊池 信博

平成 30 年度第 3 回価格審査会議事録(案) 確認

平成 30 年度第 4 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」8月号、「Web 建設物価」8月号の価格動向
・	価格が上昇した資材は、異形棒鋼（近畿、中国、四国、九州の各都市）、H形鋼（北海道、東北、中国、九州除く各都市）、一般構造用炭素鋼鋼管（東京）、レディーミクストコンクリート（高梁、安芸高田）、道路用砕石・割りぐり石・砂（函館、由利本荘A、北九州、直方、飯塚、田川、行橋、豊前、刈田）、アスファルト混合物・再生アスファルト混合物（札幌、函館、旭川、室蘭、釧路、帯広、網走）、ストレートアスファルト・アスファルト乳剤（全都市）、肥料・農薬（全都市）、非鉄スクラップ【鉛】（関東の各都市）、移動式クレーン作業料金（中部の各都市）などであることを説明。
・	価格が下落した資材は、伸銅品（全都市）、電気用裸導線（全都市）、燃料油【軽油ローリー渡し】（北陸、中部、中国、四国、九州の各都市）、鉄スクラップ【鉄】（東北、関東、北陸、中部の各都市）、非鉄スクラップ【銅】（北海道除く各都市）などであることを説明。
2.	注目資材
・	H形鋼【東京】
・	ストレートアスファルト【東京】
3.	比較資料
・	企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	西日本の豪雨災害に関する対応は。	大雨特別警報が発表された地域を中心に、生コンなど地場材工場の稼働状況を調査し、HPに「建設資材情報（第1報）（7/11付）」を掲載した。当面、1週間ごとに情報を更新する予定である。
審議 2	A重油は建設物価では横ばいであるが、企業物価指数や業界紙の価格は上昇している。異なる動きとなっているのは何故か。	米国のイランへの経済制裁など原油供給を巡る情勢は不安定で、6月以降の価格は乱高下を繰り返している。このため、調査時点によって動きが異なることもあり、各調査のトレンドとは違う動きとなった可能性がある。
審議 3	値上げの理由に輸送コストの上昇があったが、人手不足の影響が大きいのか。	運搬車両の燃料費上昇もあるが、やはり運転手不足がコスト上昇の要因として大きい。また、最近では行政指導による運転手の長時間労働への規制も、輸送コスト上昇の要因となっている。
審議 4	セメント価格は動向が安定しているが、生コン価格は地域による価格差が大きいのはどのような理由か。	生コンは、他地区からの搬入が難しいこと、各地区で協組による共販事業が行われていることなどから、各地区で独自の市況が形成されている。これらが、セメント価格と比べ地域差が大きい理由である。
審議 5	H形鋼は荷動きが低迷しているとのことだが、オリンピック需要の影響は少ないのか。	オリンピック需要に関しては、大半が高炉メーカーのひも付きで調達されている。問屋・特約店の店売りは中小物件向けが中心で、この中小物件向けが低迷している。
審議 6	電線とガス管の価格は、各地域で同時期に動いている。各地域で価格動向が同じなのは何故か。	電線とガス管は、大手メーカーが全国的に販売を行うため、他の建設資材のように地域的な特性が出にくい。
審議結果	「建設物価」8月号、「Web 建設物価」8月号の価格動向について問題はなかった。	

以 上